

『造形展によせて』

若草幼稚園・若草ベビールーム

「作品展」ではなく「造形展」と称するのは、創立当初から続く「想い」からです。時代に左右されない（させてはいけない、止めてはいけない）子どもたちの表現活動を「造形展」として展示したい、そして、作品の背後にある、目に見えない、形にならない子どもたちの「息遣い」や「やりとり」「匂い」「音」「イメージ」「空間」の広がりまでも感じられるような、子どもたち自身の「力」「輝き」をも展示できるような場でありたいと願い歩んできました。

果たして、

「子どもの表現とは？」

「創造性を育むとは？」

「子どもたちは、心を開放し自由にのびのびと描き楽しんでいるだろうか？」

「感性を大事にしたいと思いながら実は大人側の視点で求めすぎてはいないだろうか？」

「様々な方法で表現したくなるような自然・人・もの・こととの『出会い』に満ちた園生活であるだろうか？」

様々話し合いながら、自分自身にも問い続ける先生たちです。

淡々と過ごす園生活の中で、どれだけ心をときめかせ、わきおこる感情に向き合い感じ考え動き出していることでしょう。子どもたちの内なる衝動、感性、放ち続けるエネルギーに気づき寄り添える保育者でありたいと、今後も一緒に活動を楽しみ努力していきたいと思います。

年長組は、今年も「見て・触って・遊べる造形展」と称し、展示するだけでなく遊んで体感できる内容です。「造形展」という言葉が子ども同士をつなぎ、これからも表現する楽しさ、心地よさが感じられる日々でありますように。

保護者の皆様からは、材料の提供から、汚れ物のお洗濯などご協力いただきましてありがとうございました。ご覧になってのご意見、ご感想なども是非お待ちしております。